

令和4年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		10-	3
事業名	在宅医療・介護連携推進事業（介護特会）	会計 特会	款 3	項 3	目 5
政策	3 みんなが活躍できる地域共生社会をつくるために	課名	健康長寿課		
施策	3-3 高齢者福祉の推進	係名	高齢福祉係		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象 65歳以上の高齢者	目的 (対象がどのような状態になっているか)	医療・介護・福祉の連携を図り、在宅医療の必要性や課題を検討する協議会を設置し、在宅医療を中心とした地域で包括的にケアを行うシステムを構築する。医療・介護・福祉等のネットワークを築き、在宅支援のシステムを構築することにより、高齢者が住み慣れた地域で最期まで安心して暮らしていることができる。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域医療・介護の資源の把握・・・「在宅医療・介護リスト」を作成し、他職種の連携強化を図る。</li> <li>・在宅医療・介護連携に関する相談支援・・・相談員を配置し、他職種の連携強化を図る。</li> <li>・地域住民への普及啓発・・・講演会、医療介護フェアなどを開催し、住民への普及啓発を図る。</li> </ul>		

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度（目標）	
	1								
	2								
	3								
	4								
	5								
			令和3年度（決算）		令和4年度（決算）		令和5年度（予算）		
全体事業費（千円）A+B			11,769		2,453		3,460		
財源 内訳	直接事業費A		9,129		143		820		
	うち一般財源		9,129		143		820		
人件費（千円）B			2,640		2,310		2,640		
内訳	一般職員（人・千円）		0.4	2640	0.35	2310	0.4	2,640	
	臨時職員（人・千円）		0	0		0		0	

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	A町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充（事業内容を現在の規模を超えて拡充すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①R4年度の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療・介護専門職に向けてコロナ感染症に対応した事業を実施する。</li> <li>・『ACP』を取り入れた専門職への研修会及び住民への普及啓発を実施する。</li> <li>※今後もいなべ市と協働で事業を実施する。</li> </ul>	③取組の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いなべ市と協働で引き続き事業を実施する。</li> </ul>
②R4年度に実施した取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「入退院連携」と「ACP」を重点目標とし、医療・介護の専門職を対象に研究会や連携会議を実施した。</li> <li>・町民啓発では、「ACP」をテーマに視聴会場をもうけ研修会を実施した。</li> </ul>	④今後の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いなべ市と協働で引き続き事業を実施する。</li> <li>・いなべ医師会やいなべ総合病院等地域医療の中核機関への事業の移管をいなべ市と協働で進めていく。</li> </ul>